

大分県立病院を受診される患者さんへ

当院倫理委員会において、下記の治療法が承認されました。この治療法については、対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。

この内容についてご質問がある場合や、同意されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。もし同意されない場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

医療の内容	子宮頸管狭小化、狭窄例に対する子宮鏡検査・手術における頸管拡張処置のためのミソプロストール内服
対象者	当院で治療を受ける患者で、子宮鏡検査・手術を受ける方
承認日	2025年3月18日
対象期間	承認後から継続的に使用
概要	【目的・意義】 ミソプロストールはPGE1誘導体で、国内では非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)による胃腸障害に保険適応のある薬剤ですが、子宮収縮や頸管熟化作用を目的とする使用については保険が認められていません。 子宮筋腫や子宮内膜ポリープなど子宮腔内病変に対して行う経頸管的子宮鏡検査・手術は非常に有用ですが、スコープを子宮内腔へ挿入するため、事前に子宮頸管を拡張する必要があります。その際、子宮頸管が硬い方は、物理的拡張に非常に強い疼痛・苦痛を伴うこともあります。ミソプロストールはそのような症例において、薬剤の内服で頸管が軟化することで頸管拡張が容易になり、手術が安全に行えるという利点があります。 本投与法は適応外使用に該当しますが、通常の保険診療として請求させていただきます。 【想定される不利益と対策】 不利益ならびに危険性としては、下痢・嘔気・嘔吐・軟便などの消化器症状、アレルギー症状などが出現することがあります。そのような症状が強い場合には使用を中止します。 また、子宮収縮を惹起するため妊婦には禁忌ですので、妊娠の可能性を十分確認します。問診および月経周期から妊娠の可能性を否定できない場合は、妊娠検査にて妊娠の確認を行います。
お問い合わせ先	主治医 もしくは 大分県立病院薬剤部 代表 097-546-7111